



福崎町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原  
1038の12  
電話：0790-22-1000

# 松岡静雄が抱いた2つの望み

## ～大使館付海軍武官と未開地の大守～

松岡静雄は、兄弟のなかではただ一人の軍人でした。明治28年(1895)、海軍が臨時に生徒を募集した入学試験に合格し、18歳で海軍兵学校へ入学しました。そして、明治30年12月、海軍兵学校第25期生として首席で卒業し、海軍士官となりました。

この時に抱いた2つの望みを、静雄は著書『神楽舎黙語』の中で、次のように記しています。

「私は海軍士官になるとすぐ二つの望を抱いた。此望というのは他の同僚



『神楽舎黙語』(ささのや黙語)人としての生き方、静雄が後年、力をついた言語学への探求心が大きくなりました。

のように大臣大将になるというよう大きな野心ではなく、今となつては多少の事を恥るほど小さいが一生のうちに一度大使館付海軍武官と未開地の大守になつて見たいというのであつた。」

静雄が抱いたこの2つの望みは、明治42年(1909)9月にオーストリア大使館付武官となつたことと、第一次世界大戦中のポナペ島司政官としての任務によつて叶いました。しかし、この2つの異国での体験は、軍人としての生き方、静雄が後年、力をついた言語学への探求心が大きくなりました。



# 故郷七十年を 読む

名作著書紹介

**4月 企画展のお知らせ**  
平成29年度松岡映丘画稿展  
「やまと絵風景画の美」  
記念館では、4月8日(土)から5月28日(日)まで、松岡映丘画稿展を開催します。

テーマは、「やまと絵風景画の美」です。従来、やまと絵の背景や添景であった山水表現を映丘が独立した画題として取り上げ、やまと絵式で描いた風景画を紹介します。



暮らしの違いを見つけよう!


◆絵葉書紹介◆ **松岡家の絵葉書**

柳田國男の兄であり、弟たちの成長を支えた長兄・松岡鼎のもとには、たくさんの絵葉書が大切に保管されてきました。

これらの中には、松岡兄弟から送られた葉書もあり、弟たちが仕事で活躍する姿や兄弟の交流を示した貴重な資料です。

下の写真は、松岡静雄が鼎に宛てた下関からの葉書です。これは、静雄がオーストリア大使付武官になった明治42年のもので、ちょうど赴任先へ向かう途中に送られています。別の葉書には、赴任に際して兄弟たちが開いた歓送会について書かれたものもあります。

松岡鼎宛松岡静雄葉書(個人蔵)



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間  
9時～16時30分  
(入館は16時まで)

☆休館日  
月曜日、祝日の翌日  
12月28日～1月4日

☆入館料  
無料

館日記

高岡小学校の見学報告

2月1日(水)、高岡小学校3年生が「古い道具と昔のくらし」学習のため、記念館、生家、資料館に来館しました。

主な内容は、資料館で展示中の暮らしに関する資料を見て学ぶということでしたが、隣接する生家は、実際に柳田國男や松岡家が過ごした家であるため、生家の見学も行いました。自分たちの住まいとの違いを探したり、資料館で見た羽釜が実際はどのようなに使われていたのかを、実際のかまどを見て考えることができました。